

第7章 地域別施策

7.1 地域区分の考え方

- 本市は、有明海、不知火海、東シナ海の3つの海域に囲まれており、これらに面するまちがそれに多彩な個性を有しています。
- 第1次天草市総合計画では、このような状況を踏まえておおまかに次の5つのゾーンを設定し、地域別の整備構想を定めています。
- 本計画においても、総合計画の5つのゾーンを基本に、機能拠点ゾーンを中心部と郊外部に分けた6地域を設定し、地域別の施策を推進することとしました。

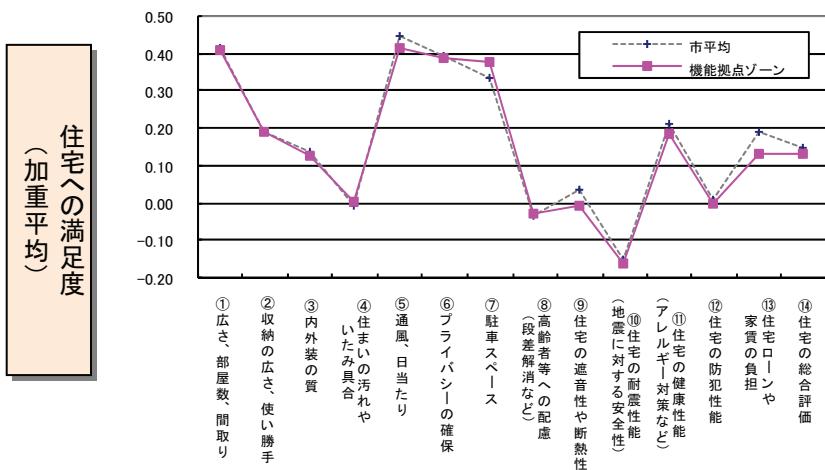


7.2 機能拠点ゾーン・中心部

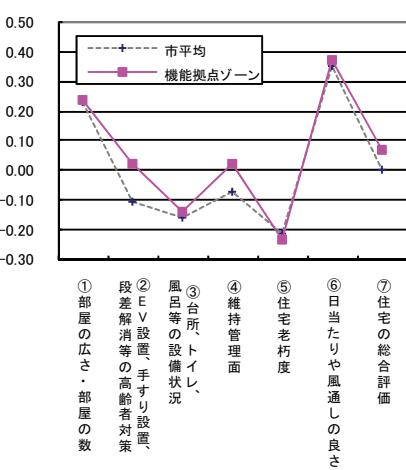
- 中心市街地としての特性を活かして、良質な共同住宅の建設促進や空き家等を活用したまちなか居住の推進、子育てのしやすい環境や高齢者や障がい者等が安全に歩いて暮らすことができる居住環境づくりに努め、さまざまな人々が交流する生活の場を形成します。
- 一部にミニ開発等による基盤整備が不十分な住宅地がみられることから、居住環境の改善・整備を進めるとともに、適切な民間開発の誘導や良質な住宅の建設促進により、良好な居住環境の形成を図ります。
- まちなか居住施策と連携して商業施設や医療機関などの機能充実に努め、天草地域の中心拠点としてのまちづくりを進めます。
- まとまりのある住宅団地や新たに整備する住宅開発地では、住民が主体となった地区計画の策定を推進するなど、良質な住宅地の形成を図ります。

○市民・公営住宅居住者アンケート調査結果（抜粋）

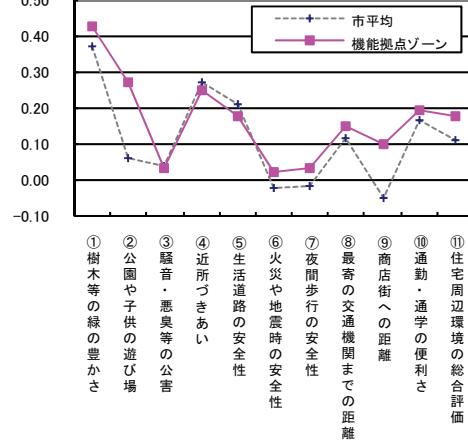
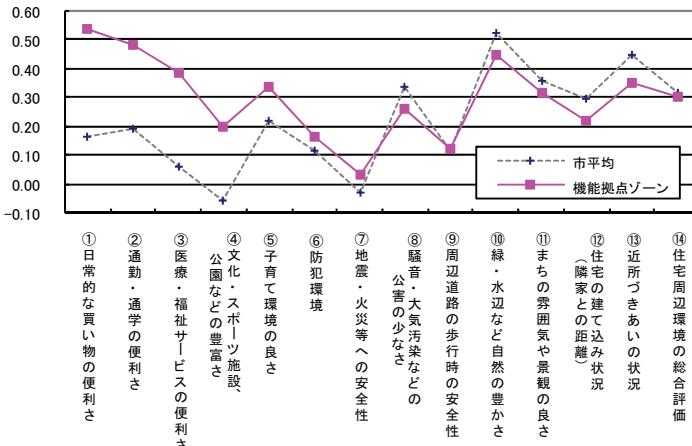
【市民全体】



【公営住宅居住者】



加重平均

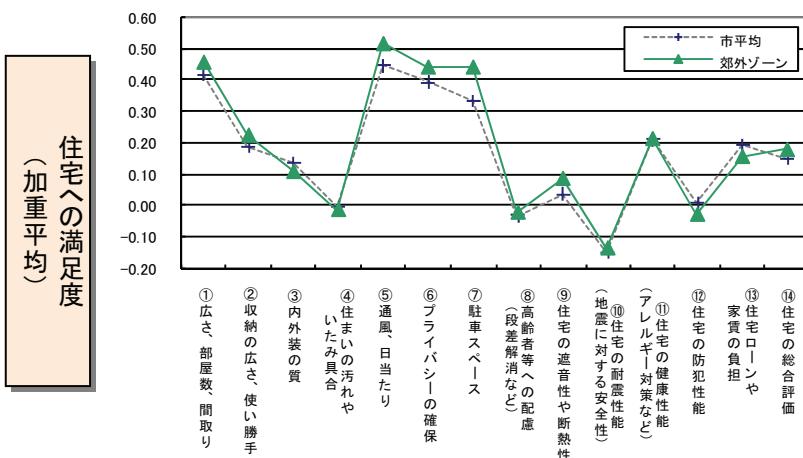


7.3 機能拠点ゾーン・郊外部

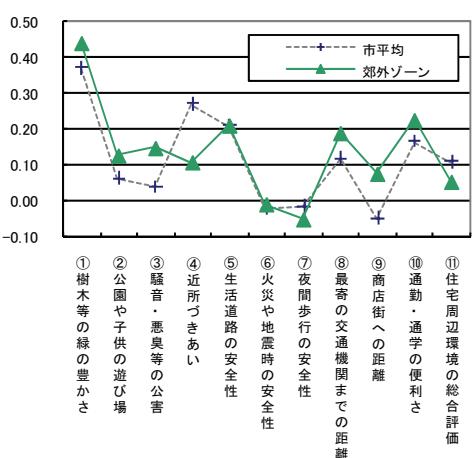
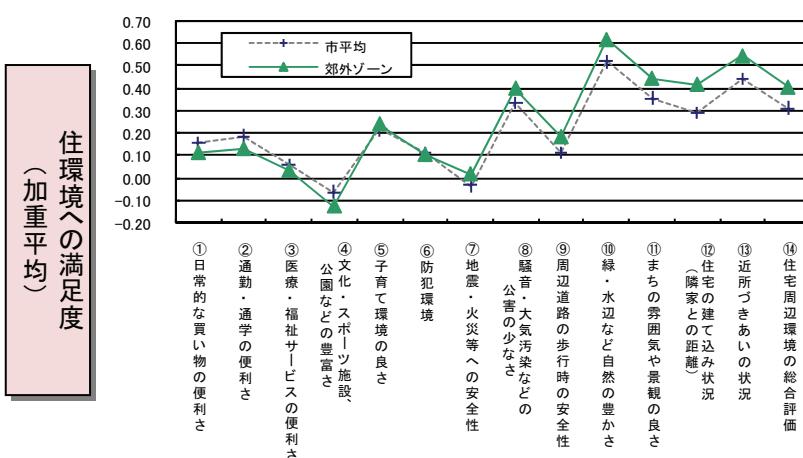
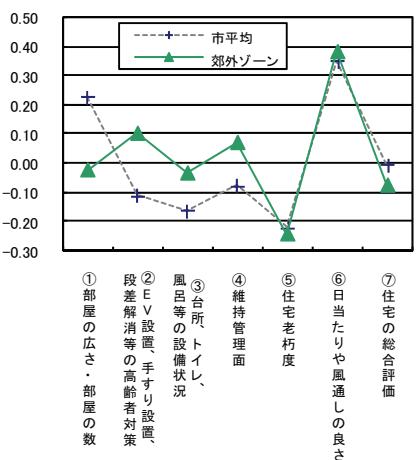
- 本地域は、市街地に比較的近く自然環境も豊かであることから、無秩序な市街化の抑制を図り、田園風景と調和した市街地の形成を図ります。また、良好な田園景観や市街地背後の山並み景観、美しい海浜景観等の保全を図ります。
- 多様な世帯の住み替えに対応できる良質な共同住宅建設の誘導や既存ストックの有効活用を図ります。
- 農漁村部では、新規就農希望者、漁業希望者等に対する住宅取得支援などを行い、地域の活性化を図ります。
- 民間事業者等と連携して、市内転居やUターン・Jターンを希望するファミリー層のための住宅供給を図ります。

○市民・公営住宅居住者アンケート調査結果（抜粋）

【市民全体】



【公営住宅居住者】

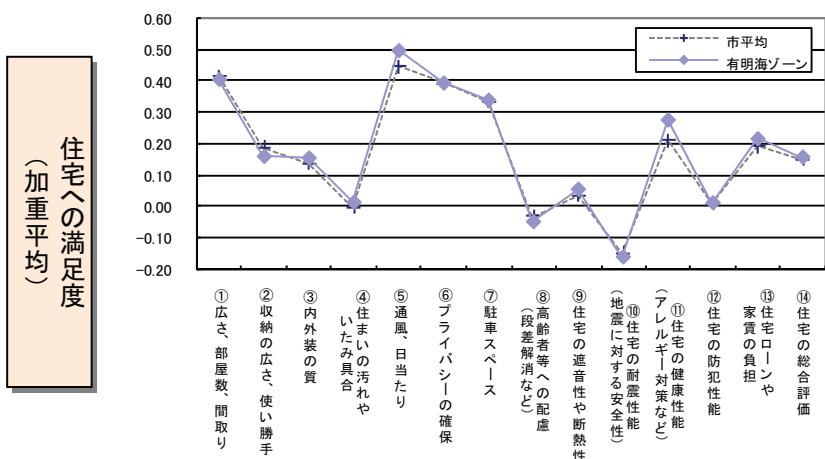


7.4 有明海ゾーン

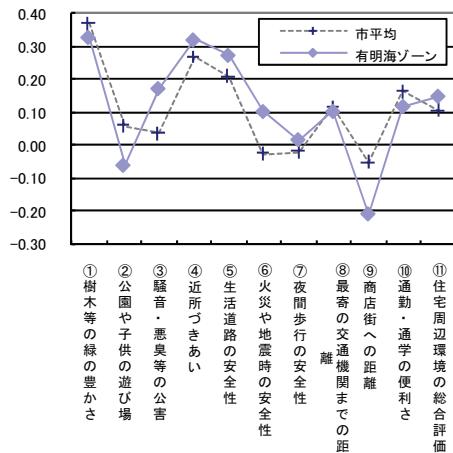
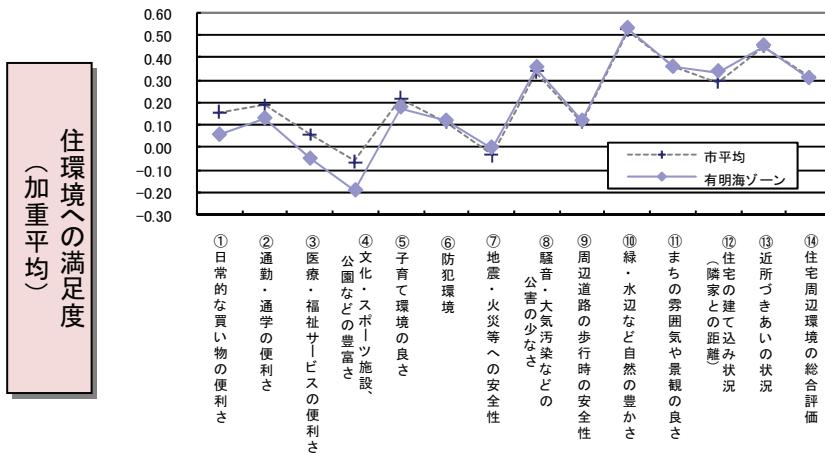
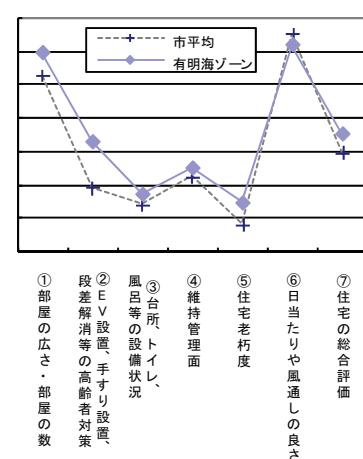
- 平成 19 年に暫定供用された松島有明道路（地域高規格道路）の整備による利便性の向上を活かしつつ、周辺の自然環境と調和した居住環境の充実に努め、天草市の玄関口としてのまちづくりに努めます。
- 海岸部の集落では風水害等に強い住宅や居住環境の形成、密集住宅地の改善や接道不良住宅の解消などを図ります。
- 美しい海や豊かな山林などの自然環境と調和した民間開発の誘導を図り、地域の活性化と美しい集落地景観の保全に努めます。

○市民・公営住宅居住者アンケート調査結果（抜粋）

【市民全体】



【公営住宅居住者】

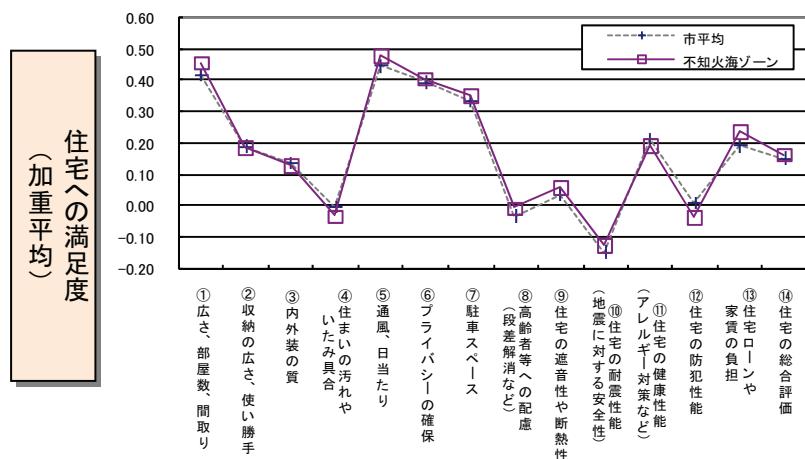


7.5 不知火海ゾーン

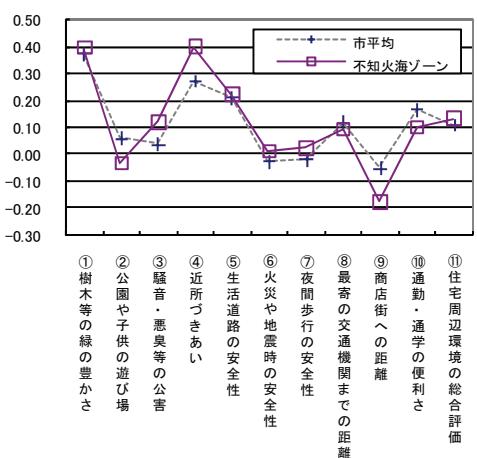
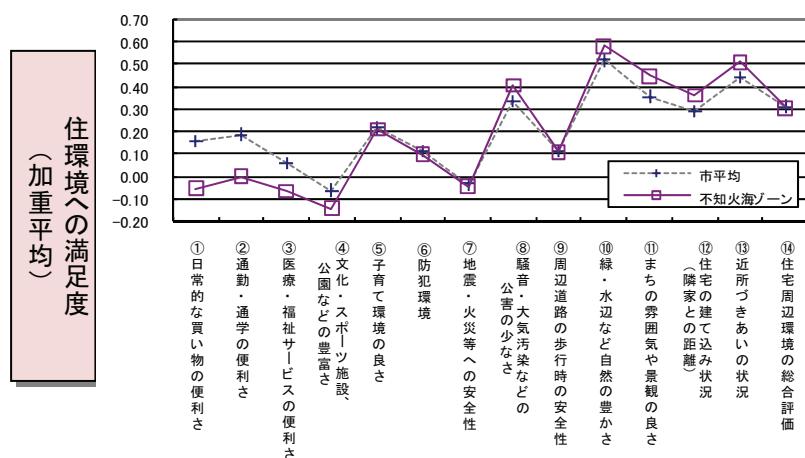
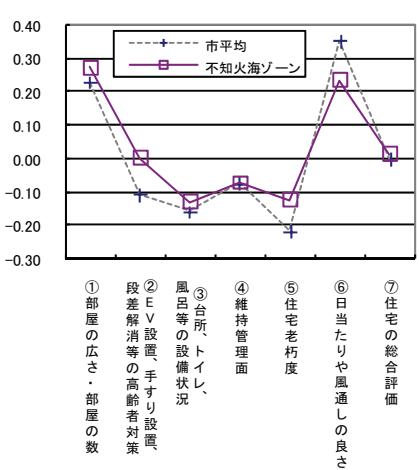
- 海岸部の集落では風水害等に強い住宅や居住環境の形成、密集住宅地の改善や接道不良住宅の解消などを図ります。
- 熊本県唯一の離島の町であった御所浦地区は、特有の文化や景観を有しており、これらの資源を活かした御所浦アイランドツーリズム等による交流を推進するなど、地域特性を活かした住まいづくりとまちづくりを進めます。
- 中山間部の集落地は、高齢化・過疎化が進行するなど集落機能の維持が困難になってきており、「スローライフ」をテーマに、団塊の世代を含めた都市住民に対して「天草の田舎暮らし」をアピールするなど定住促進策を推進します。
- 新たな居住者と高齢世帯等がともに助け合う地域コミュニティの維持・形成を促進し、いつまでも住み続けられる居住環境づくりを進めます。
- 下浦町金焼地区をモデル地区として、「天草グリーンライフコミュニティ事業」に取り組んでおり、天草の海・山・郷の豊かな自然の恵みを活かした“天草ならではの田舎暮らし”的提供に努めます。

○市民・公営住宅居住者アンケート調査結果（抜粋）

【市民全体】



【公営住宅居住者】

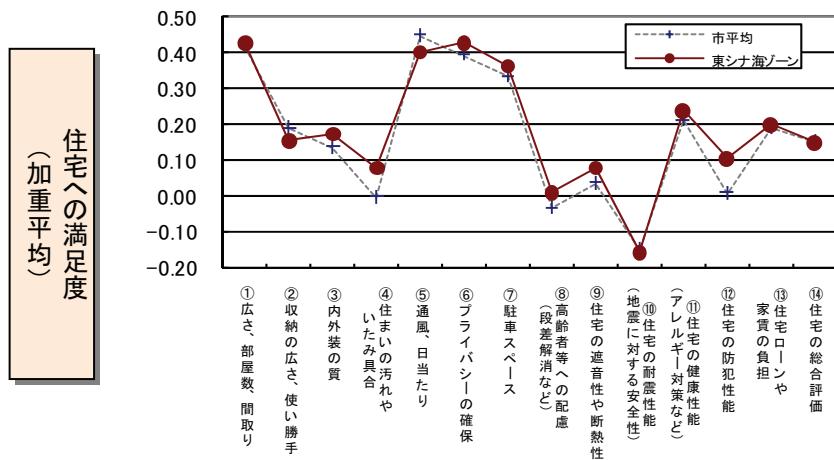


7.6 東シナ海ゾーン

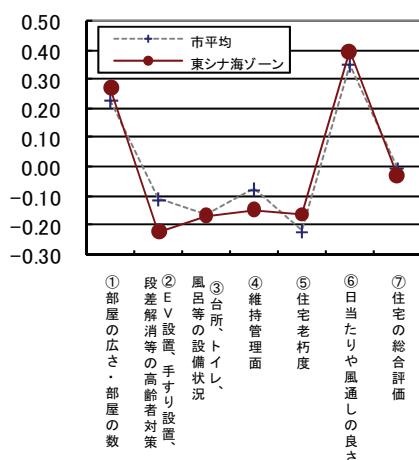
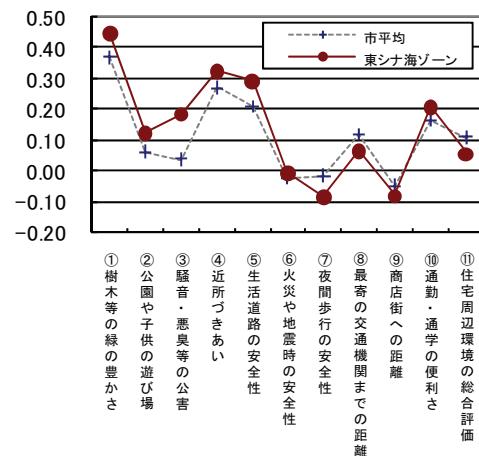
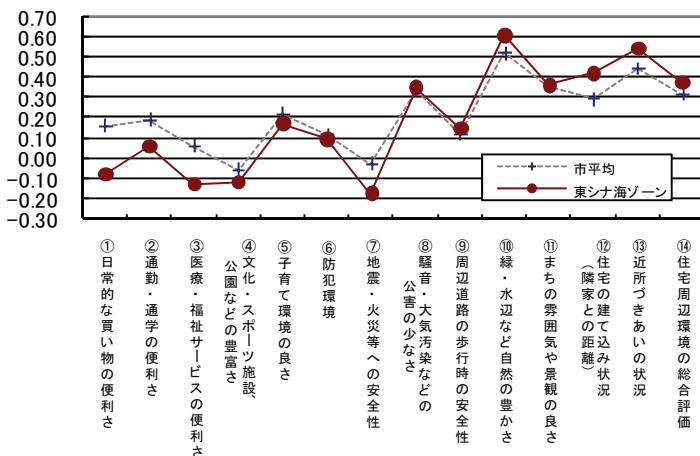
- 羊角湾から下田温泉にかけては、キリスト教の歴史を色濃く残しているほか、五足の靴や南蛮文化の歴史があることから、住宅地と観光地が調和した居住環境の形成に努めます。
- 海岸部の集落では風水害等に強い住宅や居住環境の形成、密集住宅地の改善や接道不良住宅の解消などを図ります。
- 中山間部の集落地は、高齢化・過疎化が進行するなど集落機能の維持が困難になってきており、「スローライフ」をテーマに、団塊の世代を含めた都市住民に対して「天草の田舎暮らし」をアピールするなど定住促進策を推進します。
- 宮地岳町では地域農業の発展と地域づくりを組織的に推進するなど、地域が一体となった活性化を進めており、今後ともこれらの取り組みを通じた定住環境や地域コミュニティの維持・形成に努めます。

○市民・公営住宅居住者アンケート調査結果（抜粋）

【市民全体】



【公営住宅居住者】

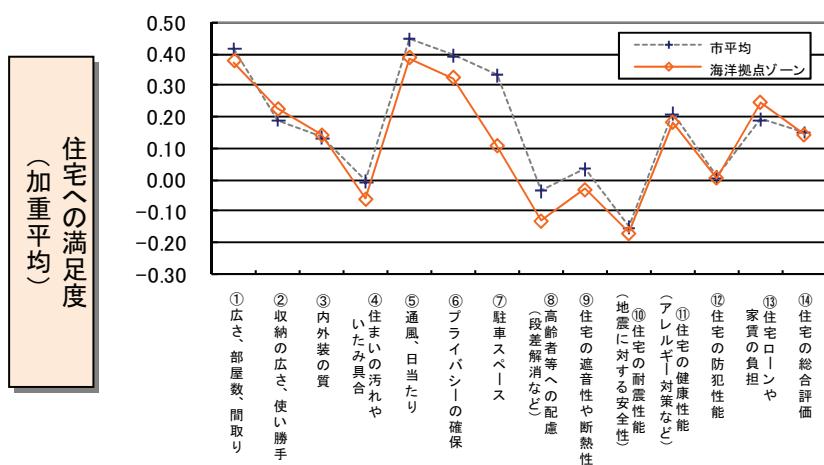
住環境への満足度
(加重平均)

7.7 海洋拠点ゾーン

- 本地域は天草市最南端に位置し、県下最大の漁業基地となっているものの、産業の衰退や人口の減少が著しく、住宅に対する住民の満足度は、他地域と比較して相対的に低く、ほとんどの項目で市平均を下回っています。このため、海洋拠点としての地区特性を活かしつつ地域住民と協働して快適で住みやすい居住環境の形成に向けての取り組みを行います。
- また、地区の中心部はまとまった市街地が形成されており、既存ストックを活用しつつ居住環境の改善を行い、高齢者や障がい者をはじめ誰もが歩いて暮らせる快適な居住環境の形成を目指します。
- 海岸部の集落では風水害等に強い住宅や居住環境の形成、密集住宅地の改善や接道不良住宅の解消などを図ります。

○市民・公営住宅居住者アンケート調査結果（抜粋）

【市民全体】



【公営住宅居住者】

